

目的 頸部形状の異なる若年女子2名について、静止時および4動作時（30度回旋、60度回旋、15度側屈、30度側屈）における頸部のモアレ写真の情報から、頸部表面展開図の作成を試み、動作によるパターンの変化を検討した。

方法 頸部体表上に頸付根線、これより体表に沿って垂直に20mm上方、40mm上方に頸囲線を入れた。左右頸側葉、前面左右接続線、後面左右接続線により6つの領域に分け6方向からのモアレ写真をもとに、静止、および4動作時における頸付根線、40mm上部頸囲線間の表面展開図、頸付根線、20mm上部頸囲線間の表面展開図、20mm上部頸囲線、40mm上部頸囲線間の表面展開図を作図した。

結果 1)動作時における頸部表面展開図全体のパターンの変化の様子、部分的变化の様子を明らかにすることができた。
2)頸付根線、それより20mm上部頸囲線、40mm上部頸囲線の周長、投影長を算出することができた。